

情報連絡員総括表（2022年6月）

— 静岡県中小企業団体中央会 —

本書は、静岡県中小企業団体中央会が委嘱した情報連絡員〔協同組合等の役職員 60 名〕による毎月の景況調査の集計結果です。

1. 概況報告
2. 項目別の前月・今月のDI値の比較
3. 情報連絡員からの報告
4. 中央会・行政への要望
5. 主要三指標におけるDI値の推移（グラフ）

・本調査の見方・

◎売上高等の9項目につき 前年同月と比較し、好転・不変・悪化 のいずれかを回答

$$DI値 = [(好転組合数 - 悪化組合数) / 調査対象組合数] \times 100$$

※全項目が前年同月比「不変」となった場合は、DI値は基準値 ±0.0(=横ばい)で推移
 ※「在庫数量」のみ、プラス値が高いほどマイナス要因と定義

1. 概況報告 （回答者数 59 名：回収率 98.3%）

○2022年6月のDI値は、前月との比較において「売上高」「販売価格」「収益状況」「設備操業度」「雇用人員」の5指標が上昇し、他の4指標が悪化する結果となった。

中国ロックダウンの解除や新型コロナの影響が薄れてきたことで、製造業における生産量の増加や操業度が上向き傾向にあり、売上高DIが上昇した。一方で、原材料価格や電気料金等の上昇は深刻であり、価格転嫁が適正にできない状況下、今後の収益状況の悪化が懸念される。

○「製造業」では、前月との比較において、「売上高」「販売価格」「収益状況」「設備操業度」「雇用人員」の5指標が改善。売上高と設備操業度が大幅に改善した一方、収益状況は前月大きく悪化した状況から僅かな改善であり、DI値はマイナス50と厳しい状況が続いている。

織物製造業からは、「原材料価格や電気料金、物流費の上昇など製造コストが増加し続けており、価格設定が難しく転嫁が思う様にできない。特にコロナの影響を大きく被った小規模工場において、電気料金の上昇は致命的となる」とのコメントが寄せられた。

○「非製造業」では、前月との比較において、改善した指標は「販売価格」のみであった。今年2月から改善傾向が続いていた「売上高」「収益状況」「業界の景況」の主要3指標すべてが、ここへ来て悪化に転じた。

鮮魚小売業からは、「売上は増加傾向にあるが、原材料やエネルギー価格の上昇に伴うコスト増加で、収益力のさらなる悪化が懸念される。価格転嫁を速やかにできる経営能力が今後問われる」との声が寄せられた。

(DI値)

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
2022年6月	15.3	0.0	30.5	-18.6	-35.5	-28.8	-3.3	-16.9	-39.0
2022年5月	3.4	-11.6	23.7	-13.5	-35.6	-18.6	-40.0	-18.6	-32.2
増減	11.9 ↑	11.6 ↓	6.8 ↑	-5.1 ↓	0.1 ↑	-10.2 ↓	36.7 ↑	1.7 ↑	-6.8 ↓

2.項目別の前月・今月のDI値の比較

		製造業				非製造業				全体			
		DI値	増減		DI値	増減		DI値	増減				
売上高	2022年6月	13.3	33.3	ポイント	↑	17.3	-10.3	ポイント	↓	15.3	11.9	ポイント	↑
	2022年5月	-20.0				27.6				3.4			
在庫数量	2022年6月	6.7	13.4	ポイント	↓	-15.4	7.7	ポイント	↓	0.0	11.6	ポイント	↓
	2022年5月	-6.7				-23.1				-11.6			
販売価格	2022年6月	16.6	6.6	ポイント	↑	44.8	6.9	ポイント	↑	30.5	6.8	ポイント	↑
	2022年5月	10.0				37.9				23.7			
取引条件	2022年6月	-16.7	-3.4	ポイント	↓	-20.7	-6.9	ポイント	↓	-18.6	-5.1	ポイント	↓
	2022年5月	-13.3				-13.8				-13.5			
収益状況	2022年6月	-50.0	3.4	ポイント	↑	-20.7	-3.5	ポイント	↓	-35.5	0.1	ポイント	↑
	2022年5月	-53.4				-17.2				-35.6			
資金繰り	2022年6月	-26.7	-6.7	ポイント	↓	-31.0	-13.7	ポイント	↓	-28.8	-10.2	ポイント	↓
	2022年5月	-20.0				-17.3				-18.6			
設備操業度	2022年6月	-3.3	36.7	ポイント	↑					-3.3	36.7	ポイント	↑
	2022年5月	-40.0								-40.0			
雇用人員	2022年6月	-20.0	3.3	ポイント	↑	-13.8	0.0	ポイント	-	-16.9	1.7	ポイント	↑
	2022年5月	-23.3				-13.8				-18.6			
業界の景況	2022年6月	-50.0	-3.3	ポイント	↓	-27.6	-10.4	ポイント	↓	-39.0	-6.8	ポイント	↓
	2022年5月	-46.7				-17.2				-32.2			

今月の業種別回答件数

		売上高		在庫数量		販売価格		取引条件		収益状況		資金繰り		設備操業度		雇用人員		業界の景況			
		増加	減少	増加	減少	上昇	悪化	好転	悪化	好転	悪化	好転	悪化	上昇	悪化	増加	減少	好転	悪化		
製造業	食料品	1	1	0	1	2	0	0	1	0	2	0	2	0	1	0	1	0	2		
	繊維工業	0	1	1	0	1	0	0	0	0	2	0	2	0	1	0	2	0	2		
	木材・木製品	1	2	0	0	1	0	0	2	1	2	1	0	1	1	0	0	0	2		
	紙・紙加工品	1	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1		
	印刷	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1		
	窯業・土石製品	1	0	0	1	2	0	1	0	1	1	0	0	1	1	0	1	0	1		
	鉄鋼・金属工業	2	1	0	0	0	0	0	1	0	2	0	2	0	1	0	1	0	1		
	一般機器	3	0	2	0	1	0	0	0	0	3	0	1	2	0	0	0	0	2		
	電気機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1		
	輸送用機器	1	1	2	1	0	0	0	1	1	3	0	1	1	0	0	0	1	3		
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
非製造業	卸売業	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0			0	0	0	2		
	小売業	2	2	1	1	4	1	0	1	0	3	0	3			0	1	0	3		
	商店街	2	2	0	2	3	1	0	2	1	3	1	3			0	3	2	2		
	サービス業	3	1			2	0	0	1	3	1	1	1			1	1	0	3	1	
	建設業	1	2			3	0	0	2	0	3	0	1			0	1	0	1	0	2
	運輸業	3	0			2	0	1	0	2	1	0	3			1	1	1	1	0	3

3.情報連絡員からの報告

製造業

水産食料品	・電気料金の値上がりが大きく収益に影響しているのに加え、副資材、仕入れ原価の値上りが続いており、収益悪化が顕著。
	・新型コロナの影響が減少しつつあり、生産量を徐々に増やし組合の共同設備の操業率も上向きかけてきた。ところが生産設備のトラブルや組合共同施設の不具合が発生。修繕や設備停止中の対応により収益が目に見えて悪化してしまった。
パン	・大手パン製造販売会社が食パンの自動販売機を首都圏の店舗前に設置した。早朝4時から深夜1時まで利用でき多様な生活スタイルに対応。ギフト用としても利用できるようになっている。
織物	・原材料価格や電気料金、物流費の上昇など製造コストが増加し続けており、価格設定が非常に難しく転嫁が思うようにできない厳しい状況。特にコロナの影響を大きく被った資金力に乏しい小規模工場の生産活動において電気料金の上昇は致命的で、先行きの見通しは全く立たない。
	・前年同月の悪化した状況と大きな変化はないが、夏物(甚平、作務衣など)の新規受注が入り、その他正絹着尺等も受注があったことで少し持ち直した状況だが、季節ものなので秋以降の動向に注視したい。原材料の高騰の影響が今後の課題。
宗教用具	・依然として需要は低迷しており、前年比△12.9%減と厳しい状況が続いている。また、資材の高騰が激しく収益性を圧迫している。
製材業、木製品	・状況に大きな変化はなく、製材工場は高操業を継続している。
印刷	・コロナの影響が薄れた割に景況感は悪いと言わざるを得ない。 ・原材料の価格上昇に伴う販売価格への転嫁について、クライアントからの理解が思う様に得られない。
骨材・石工品等	・売上が増加傾向の事業所もあるが、減少傾向の事業所もあり、収益は厳しい状況が続いている。
セメント・同製品	・単価アップが進んではいるが、原材料・燃料の仕入れ単価の上昇に追いついていない状況で、さらなる単価アップを働き掛けている。
金属製品	・売上高、操業度は好転してきている。
	・親会社の操業状況悪化により、自社の操業を停止せざるを得ない状況が生じている。
生産用機械器具	・電気料金の価格上昇による影響が出ている。多いところでは、月におよそ200万円の電気料金の増加となっている。
	・材料費の値上げは待たなし。売価は据え置き、いつになったら適正な取引ができるか。部品の調達スムーズでないため、製品の滞留から少し時間がかかると思われる。
	・原材料価格の上昇が止まらず、価格転嫁もままならないことから収益圧迫の懸念が増大している。
電気機械器具	・大型冷蔵庫は販売好調により生産は昨年を上回るペースにて推移している。 ・上海のロックダウンは解除されたが、現地部品メーカーの生産出荷は混乱しており、部品調達難は続いている。 ・家庭用と業務用エアコンは部品調達難により生産計画変更が続いているが、7月からは回復を見込んでいる。
輸送用機械器具	・在庫の増加とエネルギー価格等の高騰により収益状況は悪化している。さらに今後の電力安定供給が困難になった場合は、一気に収益が悪化する可能性がある。
	・半導体による部品調達の影響が1年以上続いているが、在庫の確保もあり少し改善の兆しが見えてきた。ただし、物流の混乱の影響は続いており突発的な生産計画の変更はまだ続くことが予測される。
	・自動車部品の生産量が拡大。中国ロックダウン解除の影響が出ている。
	・自動車メーカーの生産調整が継続されており6月も前月同様厳しい生産状況であった。7月になっても生産調整の動きがあるとの情報により、引き続き現状と変わらず減産が続くとの見通しである。

非製造業

セメント卸売業	・公共関連工事は依然鈍く、構造的な工法の変化に伴い袋セメントの需要は厳しい状況が続いている。
鮮魚小売業	・売上は増加傾向にあるが、原材料やエネルギー価格の上昇に伴うコスト増加で、収益力のさらなる悪化が懸念される。価格転嫁を速やかにできる経営能力が今後問われる。
野菜・果実小売業	・玉葱は前年度に比べると高値であるが、先月、先々月に比べるとだいぶ落ち着いた。その他の品物についても価格は抑えられている。
各種商品小売業	・静岡市の地域促進事業補助金を活用して「クーポンキャンペーン」を開催。割引券の配布で、購買の動機付け、売り上げに貢献できたと思われる。お買い上げレシートで抽選会に参加して傘・紫陽花・あめ等の景品が当たる「雨の日キャンペーン」も実施した。また、音楽イベントでは多くの人を楽しみ、街に活気があった。
	・食料品・エネルギー価格の値上げの影響か、6月は4月、5月に比べ少し厳しい状況となった。
不動産取引業	・建築代金の高騰により、不動産購入の商談に時間が大幅にかかるようになったり、予算オーバーで見送りとなる事例が多発した。一方、相続や親の介護施設入所といったことで、売却相談が増加。団塊の世代が高齢化するにつれ、膨大な不動産が市場に放出されるのは目前にきている。人口減少により需要は激減しており、地方の土地価格の低下は避けられない。
宿泊業	・昨年同期と比較しコロナ感染者数が減少傾向となり、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置もなく、加えて、県民割等の延長などにより宿泊人数が増加した。一方、光熱費をはじめ物価の高騰による材料費の値上げなど、利益率の減少が懸念される。
総合工事業	・鉄筋・コンクリート・木材の価格は高止まりしているが、合板類は品薄で、H形鋼も価格上昇が続いている。先が見えず各社とも今年の工事請負金額が減額になりそうである。
	・材料費の値上がり幅が大きいため、販売価格は上昇することになるが、材料費全てを吸収できず、結果として加工費が下がっている。
職別工事業	・全体的に忙しくなって来ているが、資材価格の高騰に受注金額が追い付かない傾向が続いている。施工費は何とか下支えできている状況である。
道路貨物運送業	6月の荷動きは昨年と比較し増加した。特に、中旬から飲料品の出荷が増加し成約件数も増えた。ただ、燃料高騰の影響は続いており、運賃引上げ交渉に荷主が理解を示してくれるなど改善の方向に動いてきてはいるが、上昇分をカバーできる状況ではない。
	・軽油の値段、あらゆる経費が上昇しており、従業員の給与を増加してあげたいが、経費の支払いに充てられるため増やすことができない。 ・運賃の値上げを求めても聞いてもらえない。2024年問題もあり撤退も視野に入れている。 ・新規の仕事を紹介されても、今より安く請け負うことを求められる。運送業の2024年問題に関心はもたれない。
	・6月は5月に比べて荷動きが悪かったように感じる。荷物の流通量が減ると業界内では荷物の取り合いになるため、運賃の市場価格が下がる。荷主から直受けの運送会社は運賃が上がる傾向にあるが、庸車ではまだまだ燃料価格の高騰分を転嫁できるような運賃で受けることができない状況である。
道路旅客運送業	・3月にまん延防止措置が解除され、運送収入は徐々に上向いているものの、コロナ前と比較すると4月が68.5%、5月が71.0%で、2.5ポイント改善したとはいえ、物価上昇に追いつかない状況。また、需要の回復に伴ないドライバー不足という新たな課題が出てきている。

4. 中央会・行政への要望

各種商品小売業

- ・エネルギー、物価問題への早急な対応をお願いしたい。

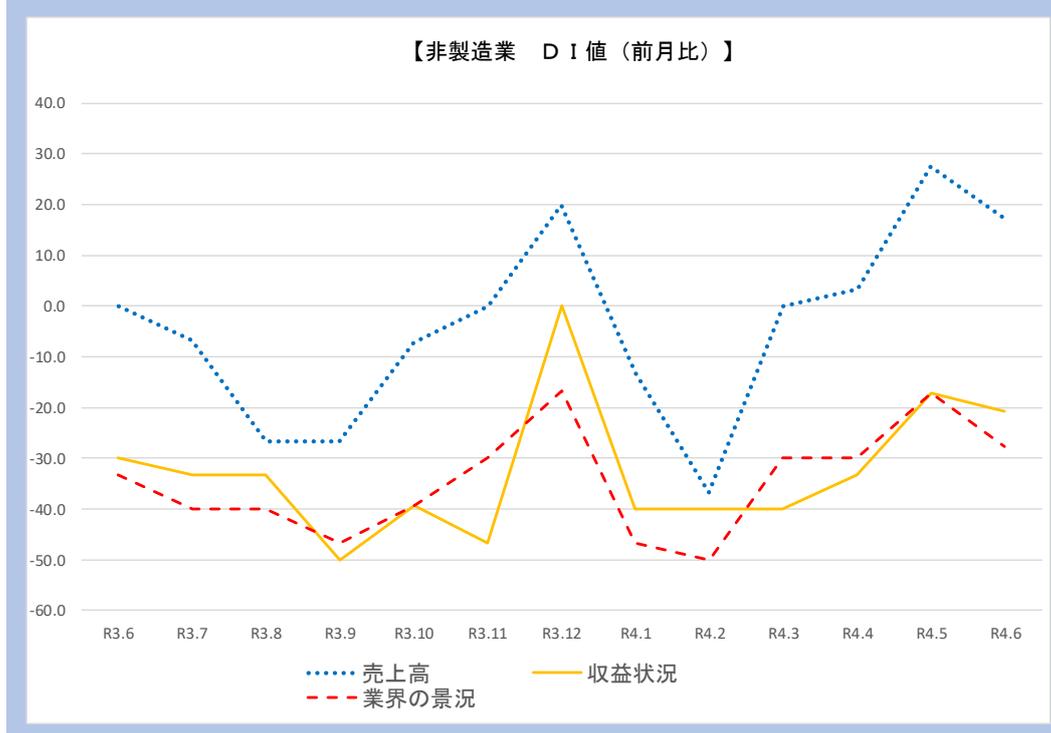
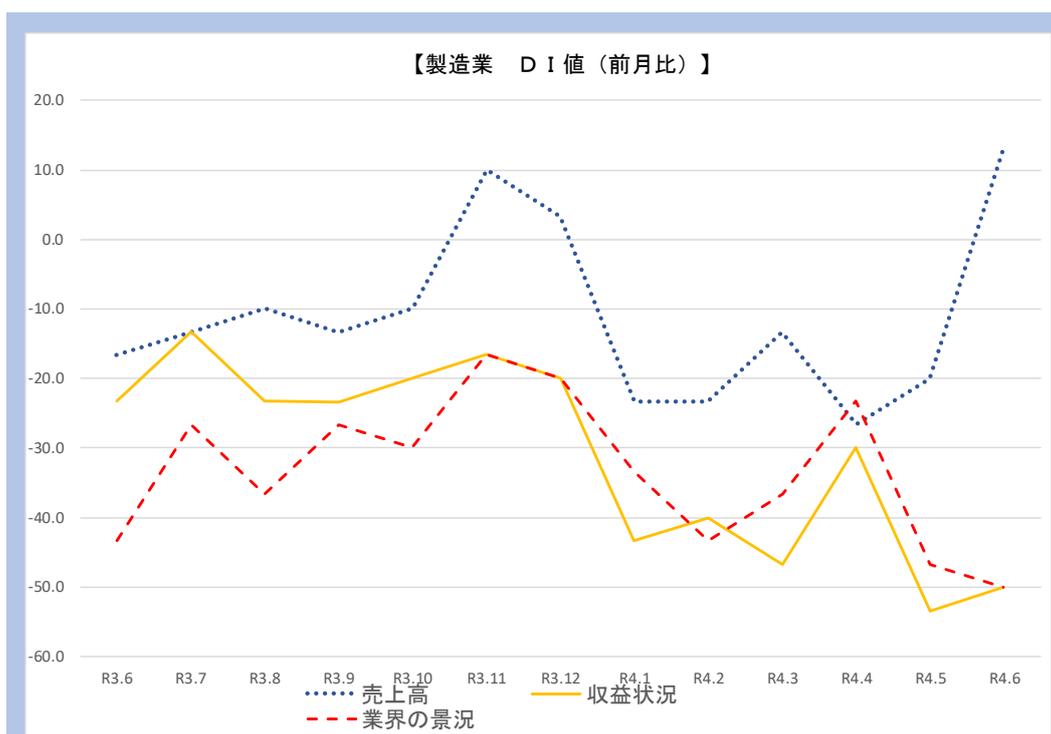
5. 主要三指標における DI 値の推移

■2021年6月期～2022年6月期までの推移

全体	R3.6	R3.7	R3.8	R3.9	R3.10	R3.11	R3.12	R4.1	R4.2	R4.3	R4.4	R4.5	R4.6
売上高	-8.4	-10.0	-18.4	-20.0	-8.6	5.0	11.7	-18.3	-30.0	-6.6	-11.7	3.4	15.3
収益状況	-26.6	-23.4	-28.3	-36.7	-29.4	-31.7	-10.0	-41.7	-40.0	-43.3	-31.7	-35.6	-35.5
業界の景況	-38.3	-33.3	-38.3	-36.6	-34.5	-23.4	-18.4	-40.0	-46.6	-33.4	-26.7	-32.2	-39.0

製造業	R3.6	R3.7	R3.8	R3.9	R3.10	R3.11	R3.12	R4.1	R4.2	R4.3	R4.4	R4.5	R4.6
売上高	-16.7	-13.4	-10.0	-13.3	-10.0	10.0	3.3	-23.3	-23.4	-13.3	-26.6	-20.0	13.3
収益状況	-23.3	-13.3	-23.3	-23.4	-20.0	-16.6	-20.0	-43.3	-40.0	-46.7	-30.0	-53.4	-50.0
業界の景況	-43.4	-26.7	-36.6	-26.7	-30.0	-16.6	-20.0	-33.4	-43.4	-36.7	-23.3	-46.7	-50.0

非製造業	R3.6	R3.7	R3.8	R3.9	R3.10	R3.11	R3.12	R4.1	R4.2	R4.3	R4.4	R4.5	R4.6
売上高	0.0	-6.7	-26.7	-26.7	-7.1	0.0	20.0	-13.3	-36.7	0.0	3.3	27.6	17.3
収益状況	-30.0	-33.3	-33.3	-50.0	-39.3	-46.7	0.0	-40.0	-40.0	-40.0	-33.3	-17.2	-20.7
業界の景況	-33.3	-40.0	-40.0	-46.7	-39.3	-30.0	-16.6	-46.6	-50.0	-30.0	-30.0	-17.2	-27.6



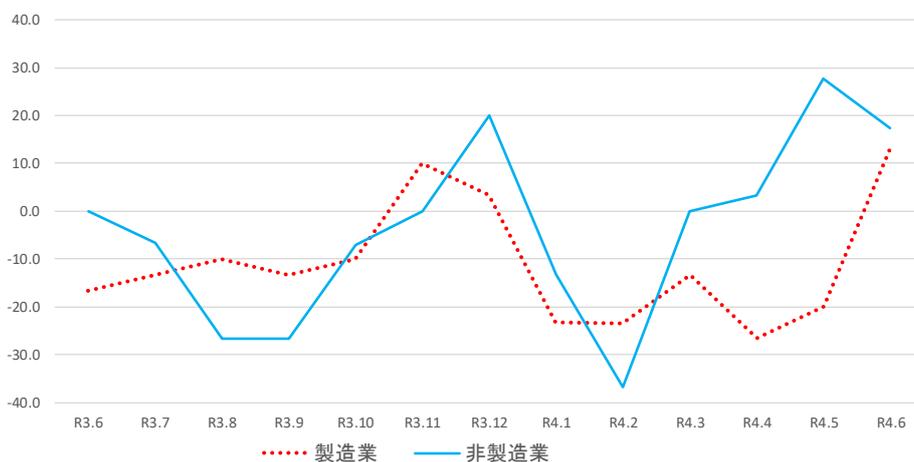
■2021年6月期～2022年6月期までの推移

売上高	R3.6	R3.7	R3.8	R3.9	R3.10	R3.11	R3.12	R4.1	R4.2	R4.3	R4.4	R4.5	R4.6
製造業	-16.7	-13.4	-10.0	-13.3	-10.0	10.0	3.3	-23.3	-23.4	-13.3	-26.6	-20.0	13.3
非製造業	0.0	-6.7	-26.7	-26.7	-7.1	0.0	20.0	-13.3	-36.7	0.0	3.3	27.6	17.3

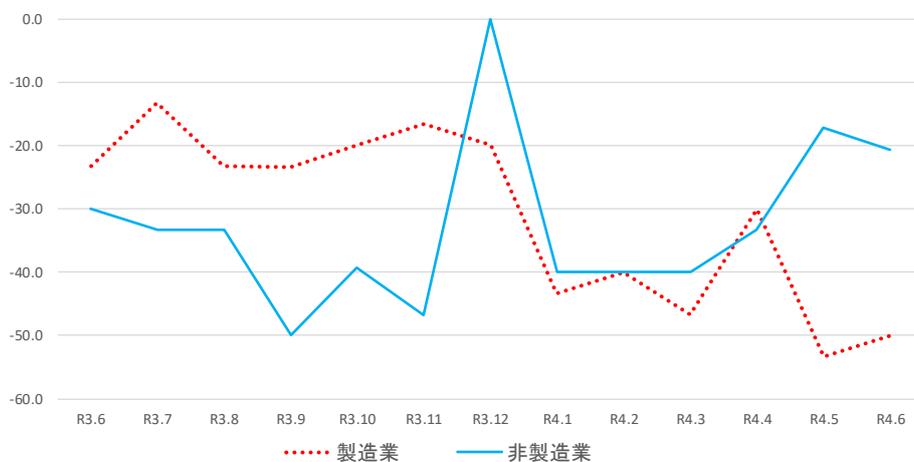
収益状況	R3.6	R3.7	R3.8	R3.9	R3.10	R3.11	R3.12	R4.1	R4.2	R4.3	R4.4	R4.5	R4.6
製造業	-23.3	-13.3	-23.3	-23.4	-20.0	-16.6	-20.0	-43.3	-40.0	-46.7	-30.0	-53.4	-50.0
非製造業	-30.0	-33.3	-33.3	-50.0	-39.3	-46.7	0.0	-40.0	-40.0	-40.0	-33.3	-17.2	-20.7

業界の景況	R3.6	R3.7	R3.8	R3.9	R3.10	R3.11	R3.12	R4.1	R4.2	R4.3	R4.4	R4.5	R4.6
製造業	-43.4	-26.7	-36.6	-26.7	-30.0	-16.6	-20.0	-33.4	-43.4	-36.7	-23.3	-46.7	-50.0
非製造業	-33.3	-40.0	-40.0	-46.7	-39.3	-30.0	-16.6	-46.6	-50.0	-30.0	-30.0	-17.2	-27.6

【売上高／製造業と非製造業の比較 D I 値（前月比）】



【収益状況／製造業と非製造業の比較 D I 値（前月比）】



【業界の景況／製造業と非製造業の比較 D I 値（前月比）】

